

2019年12月9日

2019年県内企業の冬季ボーナス支給額アンケート

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

県内企業に対して、下記の通り、今冬季ボーナス支給額のアンケート調査を実施した。

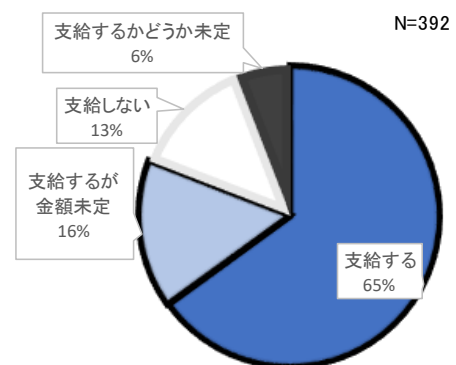
【アンケート調査要領】

調査時期・・・2019年11月中旬～下旬
調査対象・・・県内に事業所を有する企業1910社
調査方法・・・郵送により配布、回収
回答数・・・400社(回答率20.9%)

1. ボーナス支給の有無

ボーナスを「支給する」企業と、「支給するが金額未定」の企業を合わせた、8割が今冬ボーナスを支給する予定である(図表1)。

図表1 ボーナス支給について



2. ボーナス支給額の見通し

今冬のボーナス支給額見込み額と昨冬のボーナス支給額実績をあわせて尋ねたところ、従業員数で加重平均した今冬の一人当たりボーナス支給額は、49万3400円(昨冬比3.1%)、平均支給月数は1.88カ月(昨冬比0.02カ月)となる見通しである(図表2)。

図表2 19年の県内企業の冬季ボーナス支給額

	回答企業数	支給額			支給月数		
		19年	18年	増加率	19年	18年	差
製造業	65	478,900	480,300	▲0.3%	1.88カ月	1.90カ月	▲0.02カ月
非製造業	139	500,000	473,300	5.6%	1.87カ月	1.82カ月	0.05カ月
全業種計	206	493,400	478,400	3.1%	1.88カ月	1.86カ月	0.02カ月

※全業種計には、業種不明先2社を含む。

業種別にみると、卸売業、小売業を中心に、非製造業の昨冬比の増加率が高くなっている。

従業員規模別にみると、従業員数にかかわらず、支給額が増加する見通しであるが、特に100人以上299人以下では昨冬比の増加率が高くなっている（図表3）。

図表3 従業員規模別の冬季ボーナス支給額

	29人以下	99人以下	299人以下	300人以上	人数不明
回答企業数	65	96	26	11	8
①今冬	368,100	488,200	466,000	554,100	372,900
②昨冬	363,700	474,800	439,400	541,800	387,700
差①-②	4,400	13,400	26,600	12,300	▲14,800
増加率	1.2%	2.8%	6.1%	2.3%	▲3.8%

3. ボーナスの支給時期

県内企業のボーナス支給時期のピークは12月1日～10日と12月11日～20日となる見込みである（図表4）。ほとんどの企業が、年内には支給するとしている。

ボーナス商戦は12月14日（土）～15日（日）および21日（土）～22日（日）の週末が中心になるとと思われる。

図表4 冬季ボーナスの支給時期

支給時期	回答数	回答率
11月以前	9	2.8%
12月1日～10日	122	38.0%
12月11日～20日	133	41.4%
12月21日～31日	53	16.5%
1月1日～10日	1	0.3%
1月11日～20日	1	0.3%
1月21日～31日	0	0.0%
2月以降	2	0.6%
合計	321	100.0%

4. ボーナス支給総額決定にあたり考慮する事項

今冬のボーナス支給総額を決定するにあたり考慮する事項については、「決算状況」が65.8%と最多となった（図表5）。「今後の業況」および「足元の業況」も回答率が高く、全般的に自社の業況に重点を置いていることが改めて示された。一方で、「従業員のモチベーション向上」も46.2%と2番目に高い比率となったが、これは人手不足が背景にあると思われる。

